

美濃囲い崩しのコツ 2025.12.27

- ① 右辺の龍＋挟撃体制にする(美濃なら端攻め)
- ② 相手の囲いを見て弱い所を探す
- ③ 持ってる駒は安い駒から使う(センスに繋がる)
- ④ センス良く！(1番大事です)

どの囲いにも共通して言えることが、挟撃することで寄せやすくなることです。「王手は追う手」と言われるように片方から玉を追ってもなかなか捕まりませんが、挟撃することで持ち駒が少なくても寄せやすくなります。どの囲いにも必ず弱点があります。その弱点を見極めること、そして歩の存在や位置にも意識を向けられるようになると、囲いそれぞれの特徴がよりはっきりと分かってきます。

囲いの特徴が理解できれば、それを崩すために必要な中盤の指し方が見えてきますし、中盤まで互角に戦うために必要な序盤の指し方(定跡)も自然と覚えられるようになります。

そうして知識と理解がつながっていくことで、将棋はどんどん楽しくなっていきます。

将棋指導員 立花竜一